街かどフラッシュニュース Flash news of the street corner

1月14日 高齢者安全運転教室

高齢者が危機予測トレーニングで安全運転を学ぶ

運転時の危機予測トレーニングと認知・判断力診断を合わせた「高齢者安全運転教室」が南部地区地域包括支援センターで開催されました。映像を見ながら、どんな場面で事故が多いのか、運転中の注意点などについて再確認しました。

警察署からは、「高齢歩行者の事故が多くなっています。加害者にも被害者にもならないよう運転に気をつけて」と話されました。

1月17日 「帆柱観音さん」ご開帳

最澄伝説残る秘仏 令和の初観音にあわせて特別開帳

中山道沿いの慈眼寺（吉身一丁目）で普段は公開していない秘仏帆柱観音が、現在のお堂が建てられて10周年の節目と新元号の初観音であることから特別開帳されました。

帆柱観音は観音菩薩の加護で海難を逃れた最澄が彫ったと言い伝えられています。当日は、地域住民が創作した寺の沿革を語る紙芝居も上演され、参拝客が熱心に見入っていました。

1月21日 スマホ・ケータイ人権教室

利便と怖さを知り子どもの人権を守る教室

玉津小学校は、法務省を窓口にNTT職員と市内で活動する人権擁護委員を招いて、5年生と6年生を対象に「スマホ・ケータイ人権教室」を行いました。人権や安全を守る危機意識と便利な機能の活用を同時に学ぶ必要があるとして、写真の投稿などから自宅を知られてしまう可能性があることや、端末上のイメージと現実が違う場合もあることなどを学びました。

1月31日 古高町の華勧請

町内の安寧願って古式にのっとりハナ（しめ縄）づくり

作業はすべて旧暦で行われ、旧正月のこの時期に行われました。町内に悪霊や疫病が入ってこないよう、220年前から続くとされる華作りを1月28日に北年寄衆7人で作り上げ、31日に大将軍神社山門下に飾られました。今年はうるう年で、藤蔓と竹を組み合わせた月の輪を中心に13本の華が飾られています。現在伝統を守っているのは大将軍神社だけで、11月23日まで飾られます。

双眼鏡

今年は4年に1回のうるう年。うるう年と同じ周期でやってくるオリンピック・パラリンピックの年でもあります。初めて日本で行われた東京オリンピック（当時はパラリンピックはありませんでした）の時、小学生の私は国道を走る聖火ランナーを応援していました▼私は冬が好きです。寒いけれど張り詰めた透明感のある空気。星々の輝く澄み切った夜空。けれど、立春を過ぎて春の足音が少しずつ聞こえてくると、山野に自生するフキノトウの料理が楽しみになってきます▼日本にははっきりとした四季があり、それぞれに美しい風景や旬の味覚を楽しませてくれます。巡る季節の中で、定期的にやってくるうるう年やオリンピック。そして今年は、56年ぶりに巡ってきたビッグイベントへのカウントダウンとともに春を迎える。（F）

守山市の人口

令和2年1月31日現在（前月比）

人口	83,786	（＋ 40）
男	41,330	（＋ 24）
女	42,456	（＋ 16）
世帯数	32,747	（＋ 54）